

平成25年3月

平成24年度 博多港土砂投入場所に係る安全対策検討部会

1 部会報告書概要

本検討部会では、博多港港湾計画において、東航路・中央航路の整備及びアイランドシティ地区航路・泊地の整備が位置づけられており、現在も整備工事が継続されている状況にある。整備における浚渫土砂は、百道浜沖窪地及び愛宕浜沖窪地へ投入する計画が立てられ、土砂投入計画に伴う航行安全対策について、「平成23年度博多港土砂投入場所に係る安全対策検討部会」において検討された。

現在、同検討部会で審議・承認された方法により工事を実施している状況であるが、工事の進捗に伴い汚濁防止膜の展張方法についていくつかの問題となる可能性が確認され、展張方法を変更する必要性が生じているため、本検討部会で汚濁防止膜の展張方法の変更に伴う航行安全対策について改めて検討するもので、具体的には、①土砂投入場所付近の航行環境を再確認し、②土砂投入場所の汚濁防止膜の施工（設置・撤去）時の安全対策及び③夜間も含めた設置期間中の安全対策（昼間の警戒船、夜間の標識灯など）を検討し安全対策を提言した。

2 調査等概要

- (1) 汚濁防止膜展張方法の変更が必要となった経緯
- (2) 汚濁防止膜展張方法の変更方法等
- (3) 土砂投入場所付近の航行環境
- (4) 汚濁防止膜展張方法の変更に係る検討課題の抽出
- (5) 百道浜沖汚濁防止膜展張方法の変更に係る航行安全性の検討
- (6) 百道浜沖汚濁防止膜展張方法の変更に係る航行安全対策
- (7) 愛宕浜沖汚濁防止膜展張方法の変更に係る航行安全性の検討
- (8) 愛宕浜沖汚濁防止膜展張方法の変更に係る航行安全対策